

令和5年度 学校評価 進修小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の 目標・方針	【学校教育目標】 夢や目標をもち ともに高め合う 児童の育成 ～ 自ら学び 人とつながる 進修っ子 ～ 【目指す学校像】 (1)家庭や地域とともにある学校 (2)学ぶ楽しさを感じられる学校 (3)一人一人に居場所のある学校 (4)教育環境が整った学校
本年度の重点目標	① ふるさとに愛着をもつ子 ② 自ら学ぶ子 ③ 自他ともに大切にできる子 ④ 明るく元気な子

2 自己評価 (達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善)

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	生活指導	挨拶運動に取り組み、気持ちのよい挨拶が交わせたか。	B	児童の75.8%、保護者の71.4%が「できている」と答えている。児童は昨年度と同程度、保護者は2%上がった。例年、児童会を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいる。今年はPTAや学校運営協議会等でも呼びかけ、意識して取り組んできた。更なる、意識付けを続けていく。
	保護者・地域との連携	ふるさと教育に取り組み、地域のよさを知ることができたか。		児童の「ふるさとのよさを感じている」割合は、87.4%と高かった。昨年度と比較しても、5.3%上がっている。ふるさと教育を継続し、児童の自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、ふるさとに愛着をもつ子を育成していく。
教育課程	学習指導	楽しい授業づくりに取り組み、児童が意欲的に学んでいたか。	B	「先生や友達に自分から尋ねている」と答えた児童は、85.3%、昨年度と同じパーセンテージ(%)。「勉強がよくわかる」と答えた児童は85.3%で、昨年度より2.1%上がった。意欲的に学ぶ姿が、少しずつ見えてきている。引き続き、児童の自走する授業づくりに取り組んでいく。
	指導方法の工夫改善	タブレットを効果的に活用した授業づくりに取り組み、児童は進んで活用していたか。		「タブレットを活用している」と答えた児童は、88.4%、昨年度より5.2%上がった。タブレットを活用した授業づくりが進められている。さらに、児童が効果的にタブレットを活用できるよう取り組んでいく。
課題教育	特別支援教育	一人一人を大切にしている教育を行い、お互いのよさを認め合うことができたか。	A	「友だちのよさを見つける」「誰とでも仲よく」できていると答えた児童は、91.6%、昨年度と同じパーセンテージ(%)。保護者からも昨年度92.9%、今年度90.5%と高く評価していただいている。引き続き、一人一人のよさを大切にし、お互いを認め合える学校づくりに努めていく。

3 学校関係者評価

・本年度の目標に対して概ね達成しており、児童の成長が見られた。学校行事等において、1年間の児童の成長が見られたことは素晴らしい。子ども達が生き生きと意欲的に授業を受けている姿や楽しそうに取り組んでいる姿に感動すら感じた。

・下校時に子どもから大きな声で「ただいま」と挨拶があり気持ちがよかった。挨拶やふるさと教育については、保護者や地域の協力もあり、以前に比べるとよくなっている。PTAで挨拶運動への呼びかけもできた。今後も取り組んでいきたい。

・タブレットを自宅に持ち帰り、タイピングに意欲的に取り組んでいた姿から、学校で楽しく関わっているのだと感じた。長期休みには、宿題に組み込んでもいいのではと思う。

4 次年度の改善の方向性

・引き続き、子ども達が生き生きと意欲的に取り組める教育活動を実施し、子ども達の自己肯定感や自己有用感を高めていく。

・楽しい授業づくりに取り組み、自走する児童を育成していく。

・地域との連携を推進し、地域に愛着をもつ子を育成していく。

・保護者や地域を巻き込んだ挨拶運動を引き続き継続していく。

・家庭での学習も含め、さらなるタブレット活用を活かした学習に取り組んでいく。

令和6年3月6日

学校名 丹波市立進修小学校

校長名 吉見桐子

